

施工上の注意

器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

1.検知エリアを考慮して設置してください。

高さは3m以内に設置してください。

センサ・の特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサ・の人体検知の信頼性がより向上します。

センサ・正面に向かって人が近づく様な位置に設置しますと、検知エリアに沿って人が接近した場合器具のごく近くまで人が近づかないと、検知しない場合があります。

器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5 m以上離して取り付けるか、もしくはユニットの方向を調整してください。

- 2.検知エリア内に障害物がある場所への設置はお避けください。センサ・が検知しないことがあります。
- 3.車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。誤動作の原因となります。
- 4.通りに面している場所にご使用の場合は、車や通行人が検知エリアに入らないように調整してください。
- 5.暖房器具の付近や、蒸気などが当たる温度変化の多い場所への取り付けはお避けください。 誤動作の原因となります。
- 6.ご使用環境により誤動作が発生する場合がありますので、必ず壁スイッチを設置してください。 他社製の表示灯付き壁スイッチとの組合わせはできません。誤動作の原因となります。
- 7.センサーの動作が多く、ランプの点滅が多い場所(トイレや人通りの多い場所など)に使用しますとランプの短寿命の原因となります。

連続点灯

この器具の配線に壁スイッチを取付け、壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、 人体検知に関係なく器具を点灯させることができます。

壁スイッチをOFFにしてから約1秒以内に

ONにすると連続点灯状態になります。 連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動

連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサ-待機状態になります。

連続点灯状態の時に、壁スイッチをOFFにしてから約2秒以上してからONにするとセンサ-待機状態になります。

連続点灯状態となると、表示灯(緑)が点灯します。

約 1 秒以内の 壁スイッチの [O F F - O N]



_____ 約 2 秒以上の 壁スイッチの [O F F - O N]

(ご注意)

- ・連続点灯中に壁スイッチ操作(約1秒以内にOFF~ON)を行った場合、タイマ-が リセットされ、その時点から約8時間の連続点灯になります。
- ・壁スイッチを使用しない場合は、 連続点灯に切り替えることができません。

センサー機能について



壁スイッチ「ON」 「ON」で約1分間は照明が100%点灯し、 約5秒間消灯してからセンサー待機状態になります。

待機モート 暗い時 人を検知 設定時間後



[まわりの明るさ]設定スイッチ

- [暗] 暗い照度(約15ルクス)で待機状態となります。
- | 切| 照度センサーをOFFします。周囲の明るさに関係なく 検知するたびに、全光点灯します。 ([1分],[3分]の場合のみ。)
- [明] 明るい照度(約45ルクス)で待機状態となります。

[点灯時間]設定スイッチ

[1分] 検知してから約1分間全光点灯します。 [人感切] 人感センサーをOFFします。照度センサーとして 使用できます。([暗],[明]の場合のみ。)

[3分] 検知してから約3分間全光点灯します。

[テストモード]の設定

設定スイッチを[切],[人感切]にあわせます。

・周りの明るさに関係なく、検知するたびに5秒間点灯します。

検知エリア 首振り40° 100° 約6.5m

エリアカットマスク使用時 紫: 2

ON / OFF センサー

約 2m

(ご注意)

調光器との組合せで使用することはできません。 使用中に動作スイッチを切り替えると、約5秒間消灯してから 設定状態で動作します。(連続点灯モードは除く)